ビーム物理研究会若手の会　研究会提案

2023年5月9日
KEK 大谷

　私たちが直面している地球環境の変化に対処するために、持続可能なエネルギーの確保が喫緊の課題の一つとなっています。核融合技術は地球規模のエネルギー問題を解決するキーテクノロジーとして古くから開発がすすめられ、近年では世界的にスタートアップの企業が増加しています。特に日本においては「新しい資本主義」の実現にむけた取り組みの一つとしてスタートアップ育成5か年計画なども策定されているなかで、大学発の核融合ベンチャーも設立され、市場への投資も活発化しており、まさに産学官あげての大きな流れになっている印象があります。技術的な親和性、将来に向けた研究開発、社会への貢献など、ビーム物理とも様々なシナジーのある核融合分野の今をベンチャー・経営学分野から眺めることは、現在の日本の動向を鑑みたときに、少なくとも短中期的に加速器分野が発展していくうえで一つの示唆を与えてくれるものと考えています。そこで本研究会では、株式会社Helical Fusionの創業者と研究者を招き、ベンチャー・経営学の観点から核融合の今を議論したい。
　なお、本研究会はこれまでの研究会と同様にZoomによるリモート形式を予定している。

研究会名：「ビーム物理研究者でもわかるベンチャー・経営学−若手研究者と 企業を繋ぐシリーズ（第２回）−」
主催：ビーム物理研究会若手の会
会期：8～9月頃（TBD）
場所、会場：自宅等（Zoomによるリモート開催）
研究会の形式：
　参加者：特に制限しない
　要件：**特になし**
研究会内容案：
・ 大谷 将士（KEK）「はじめに」 5min.
・ 金田 健一（株式会社Helical Fusion）「加速器分野から核融合ベンチャーへ」30min.
・ パネルディスカッション
大岩
田口 昂哉(株式会社Helical Fusion)
50min
・ 大塚 崇光（宇都宮大学）「まとめ」 5min.
計 1h30min.

幹事会での議論事項
1．開催の可否、日時
2．研究会内容(時間も含む)に関するコメント募集